

「春日部匠の輪」-62- 共栄大学 国際経営学部長 秋山 高善 様



今日は共栄大学国際経営学部長の秋山高善教授にお話を伺いました。共栄大学に勤めて今年で八年目になります。東京から約一時間かけて通っています。

専門は税法です。その中でも消費税法を専門としています。税理士の資格を持っています。専門性の高い授業が受けられます。わからないところを聞きに行くと、丁寧に教えてくださいます。

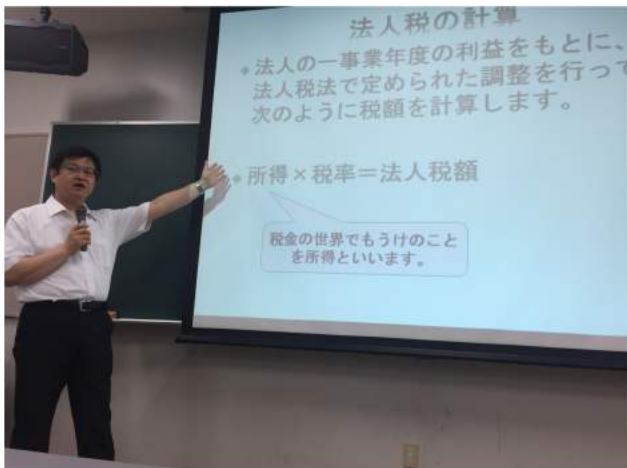
学生から見た印象は、きれいな先生、学生思いの優しい先生です。ときには、学生の将来のことを考えて厳しいことも言ってくれます。

趣味は宝塚観劇で、休日には劇場まで足を運んでいきます。

また、家族との時間も大切にされていて、休日には

奥様の買い物に付き合ったり、四歳の息子さんと公園に行ったり、家族全員で外食を楽しんでいます。最近、焼肉や寿司を食べに行ったりしています。息子さんはお父さんが大好きで、夜中に布団に入ってきて寝不足だと嬉しそうに学生に話していました。先日、息子さんのお誕生日会の写真を見せていただいた際、とても楽しそうに仲の良い雰囲気が伝わってきました。ドラマを観るのも息抜きになり、平日は家に帰ると録画しておいたドラマをまとめてみるようです。学生とも、ドラマの話で盛り上がっています。

会計のゼミナールを持っていて将来金融機関に就職したい学生が多く集まっています。資格取得の勉強をしていたときには、毎回たくさん過去の問題を用意してくださり、学生も問題数の多さ



に苦勞しながらも解いていくうちに理解を深め、次第に結果が出てきて、楽しく勉強してしましました。私も受講していますが、一人ひとりのわからないところを教えてくださるため、個別授業のようでもわかりやすかったです。なかには、会計が苦手な学生もいましたが、忙しい時間を割いて教えてくださるので、少しずつ苦手の分野を克服し、多くの学生が資格を取得しています。

就職指導もされていて、空き時間には研究室に相談に行く学生も多くいます。

学部長に就任されて多忙なようですが、今までと変わらず学生の面倒を見てくださる優しい先生です。

記事内のQRコードをスマホで読み込んでいただくとインタビュ動画をご覧いただけます。

(ゆかいしゃごっこ 百香)



匠の街春日部かわる版

発行 御コーク

編集 共栄大学発ベンチャー
御かいしゃごっこ
編集長 藤本有美

「歴史を歩く」第五十八話 金融界の基礎を築いた小山健三

埼玉出身で歴史上最も有名な人物は渋沢栄一(一八四〇〜一九三三)であろう。第一国立銀行を始め王子製紙、大阪紡績(現東洋紡)、東京瓦斯など生涯に五百余の企業の創設に関わった明治大正時代の実業界の巨人である。そして、渋沢と並び「東の渋沢、西の小山」と称された人物が行田市出身の小山健三(一八五八〜一九三三)である。渋沢は現在の深谷市の生まれであり、奇しくも両人とも埼玉県の出身である。



小山 健三

小山健三は武州忍(おし、現行田市の下級藩士の家に生まれ、藩校進修館に学んで十三歳で算術の目録を受け、翌年から藩校で教鞭をとる程の英才であった。廃藩置県後、東京に出て高等数学と洋学を学び、また外人教師から化学と英語を学んだ後、長野と前橋で教職に就いた。明治十四年(一八八一年)に文部省に入り、十六年に二五歳の若さで長崎師範学校長に赴任し、女子師範学校や商業学校の創設や医学校の改革に尽力した。明治二年(一八八九)に東京に戻った小山は、東京工業学校(現東京工業大学)教授を経て、明治二八年に東京高等商業学校(後の東京商科大学、現一橋大学)の校長に就任し、学校改革に着手した。近代社会における職業倫理教育を徹底し、また商学だけでなく

く経済学と法学をカリキュラムの中核に据えた。小山のこうした改革は、後に東京高等商業学校が東京商科大学に昇格する上で大きく貢献したといわれている。

明治三一年(一八九八)に文部次官に就任するが僅か二か月で辞任し、翌年四一歳の若さで(株)三十四銀行(後の三和銀行、現三菱UFJ銀行)の頭取に就任した。三十四銀行は第三十四国立銀行が民間銀行に転換した銀行であるが、経営の近代化のため小山健三を第一代の頭取として迎え入れたのである。小山は頭取に就任すると直ちに経営近代化の方針を打ち出して、外国為替業務や中小工業者向けの長期資金の貸出を開始した。こうした業務は当時においては三十四銀行独特のもので、関西の中小企業の育成に大きく貢献した。また、東京地区における営業活動を強化するため、大正四年(一九一五)に東京支店、続いて京橋支店を開設した。小山は三年もの長きにわたり頭取職にとどまり、三十四銀行と関西及び日本の金融界の発展に尽力し、

在任中の特筆すべきエピソードの一つは、明治四二年(一九〇九)に起きた日本精糖の経営危機に際しての小山の出処進退である。三十四銀行の損失補てんのために全私財の提供を申し出たのである。「カネを貸す時は自分のカネを貸すつもりでやるべし」というモットーを自ら実践したのである。



【筆者紹介】
内藤徹雄。共栄大学名誉教授(元副学長)、全国歴史研究会会員、専門は国際経済、国際金融。中学時代より「趣味は歴史」を貫き、現在も歴史探訪を続ける。

忍城(御三階櫓、東門、あざま橋)



大正十一年(一九二二)、頭取在任のまま逝去した。

共栄大学発ベンチャー有限会社かいしゃごっこ 主催

大学で学ぶキッズICTサマースクール

参加者随時受付中! 初心者大歓迎!!

◇日時: 8月23・24・25日 午前9時~12時(予定)

◇内容: マインクラフトの世界で一級建築士を目指そう!!

◇会場: 共栄大学ICTビジネス実践室

※パソコン完備・無料駐車場あり

ict@kaisyagokko.com

お問い合わせ・お申し込み先メール

048-761-5815

お問い合わせ・電話申し込み先

お気軽に
お問い合わせください